

岐阜県の専門高校における職業教育の概要

- 岐阜県教育委員会の基本方針
- 教育を取り巻く状況
- 岐阜県を支える産業教育
 - ・職業学科の設置状況
 - ・産業教育の充実
 - ・地域連携推進事業
 - ・スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール
(県立岐阜商業高校の取組み)
 - ・多様な学習成果の評価方法に関する調査研究事業
(加茂農林高校、可児工業高校の取組み)
 - ・グローバル化に対応した産業教育の推進
- 岐阜県産業教育の実績
- 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関に対する期待

【資料提供: 岐阜県教育委員会 学校支援課】

岐阜女子大学 服部 晃
(元 岐阜県教育委員会 参与)

平成26年度 岐阜県教育委員会の基本方針 第2次岐阜県教育ビジョンの推進

基本目標

施策体系

平成26年度の主な施策

1

確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育

- 確かな学力の育成
- 特別支援教育の充実
- グローバル社会で活躍できる人材の育成
- 多文化共生社会を目指した外国人児童生徒の教育の充実
- キャリア教育の充実
- 産業教育の充実**
- 情報教育の推進
- 幼児期からの教育の充実

- ▶指導改善サイクルを確立し学力向上を図る取組の徹底（重点 新規）
- ▶小学校からの教科専門性向上による教科指導の充実（重点 新規）
- ▶特別支援教育に携わる教職員の専門性の向上（重点 新規）
- ▶特別支援学校の計画的な整備（重点）
- ▶グローバル人材育成に向けた授業等の改善と教職員研修の充実（重点 新規）
- ▶グローバル人材育成に向けた海外留学・姉妹校交流の促進（重点 新規）
- ▶**グローバル人材育成に向けた産業教育の推進（重点 新規）**
- ▶外国人児童生徒に対する適応指導の充実
- ▶高等学校におけるキャリア教育・就職指導の充実
- ▶**産業教育の充実に向けた校種間や地域との連携の推進**
- ▶児童生徒の情報活用能力の育成と教職員のICT活用指導力の向上
- ▶幼保小が連携して行う幼児児童の発達に応じた幼児教育の充実

2

豊かな心と健やかな体を育む教育

- 心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力の向上
- 人権教育の推進
- いじめ等の問題行動や不登校への対応と教育相談体制の充実
- ふるさと教育・環境教育・体験活動の推進
- 健康・体力づくりの推進
- 食育の推進

- ▶地域や家庭と連携した道徳教育・人権教育の充実
- ▶いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための体制強化（重点 新規）
- ▶いじめ・不登校に対応する教育相談体制の充実（重点）
- ▶「清流の国ぎふ」への誇りと愛着を育むふるさと教育・環境教育の推進（重点 新規）
- ▶幼児児童生徒の体力づくりの推進
- ▶栄養教諭を中心とした食育の推進と食に関する実践力の育成

基本目標

施策体系

平成26年度の主な施策

3

魅力ある教職員の育成と
安全・安心な教育環境づくり

- 優秀な教職員の確保と人事システムの構築
- 教職員の資質能力の向上と体罰・不祥事の根絶
- 学校マネジメントの推進
- 安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実
- 学校施設の整備の推進
- 修学支援と学びの再チャレンジの推進

- ▶優秀な人材確保のための教員採用選考の推進
- ▶学校を活性化する人事システムの構築
- ▶小学校初任者の指導力向上に向けた仕組みづくり（重点 新規）
- ▶管理職が学校の経営力を高めるための研修の充実
- ▶体罰・不祥事根絶に向けた取組の推進
- ▶教職員の多忙化解消に向けた取組の推進
- ▶高校教育の質保証・向上のための教育改革の推進
- ▶防災教育・食物アレルギー対策の推進（重点 新規）
- ▶教育環境改善のための県立学校施設改修の実施
- ▶経済的な理由による修学困難な生徒に対する修学支援の推進（重点 新規）

4

学校・家庭・地域の連携による
教育コミュニティづくり

- 家庭の教育力の向上
- 地域の教育力の向上

- ▶子育て中の親が家庭教育について学ぶ機会の充実
- ▶地域全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進
- ▶地域と連携した学校安全教育の推進
- ▶いじめ・不登校の未然防止に向けた取組の充実

5

生涯にわたる
学習・文化・スポーツの推進

- 文化活動の推進
- 文化財の保存・活用の推進
- 学校におけるスポーツの推進
- 生涯学習の推進

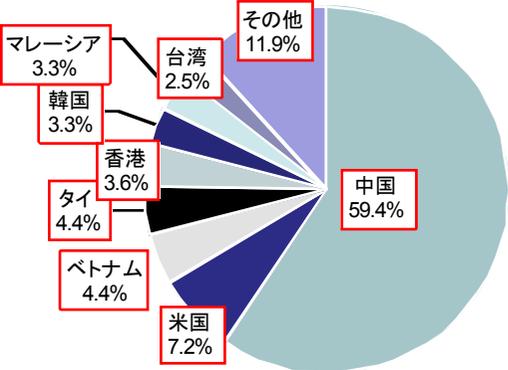
- ▶子どもたちが文化・芸術・スポーツに親しむ機会の充実
- ▶国・県指定文化財の保存・活用に対する支援と教育普及活動の実施

教育を取り巻く状況①

【社会の変化と産業の動向】

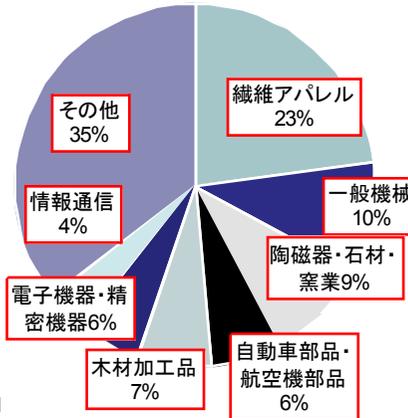
- ① 少子高齢化の進行 → 生産年齢人口の減少、地域の担い手の不足
- ② 経済のグローバル化 → 国際競争の激化と共存・協力
- ③ 情報化の進展 → 産業技術の高度化、競争力の強化
- ④ 産業構造の変化 → 経済のサービス化
- ⑤ 雇用情勢 → 就業構造の変化、非正規雇用の増加

県内企業の海外法人の所在国割合

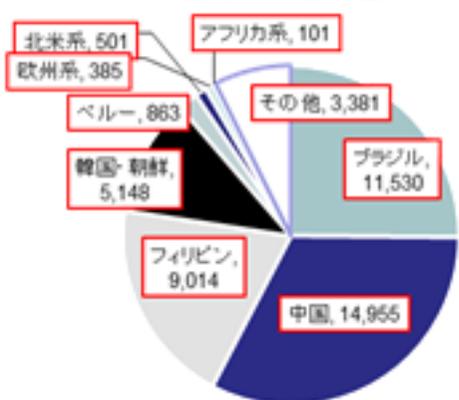


出典:「2011年度岐阜県海外投資ハンドブック」

海外進出している県内企業の業種割合



県内の国籍別在留外国人数(H24)

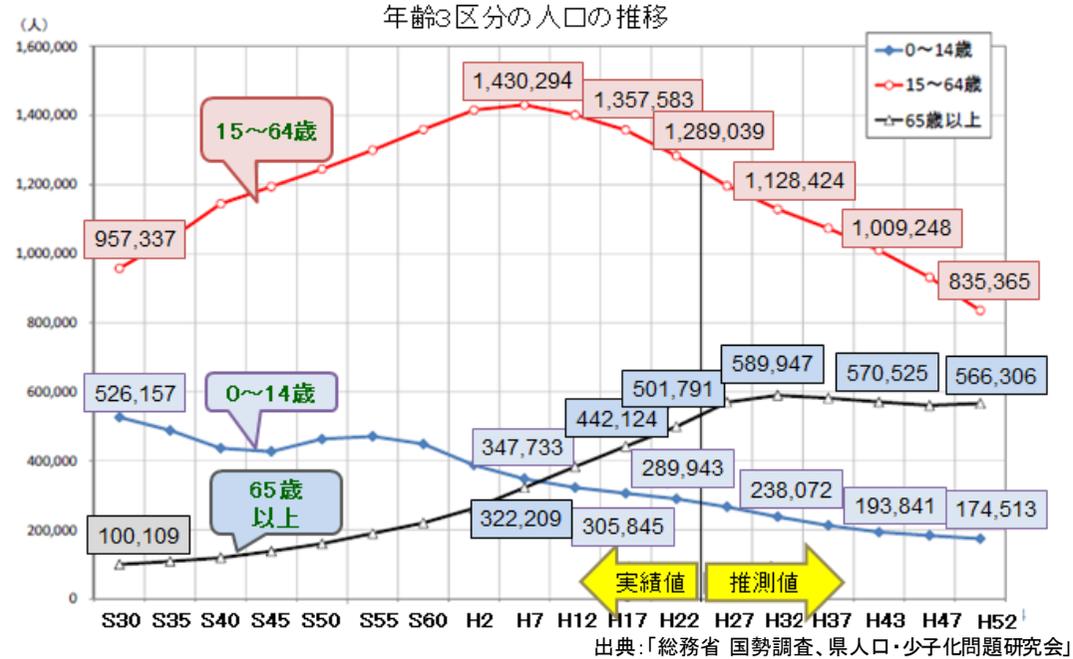


県内の外国人登録者数



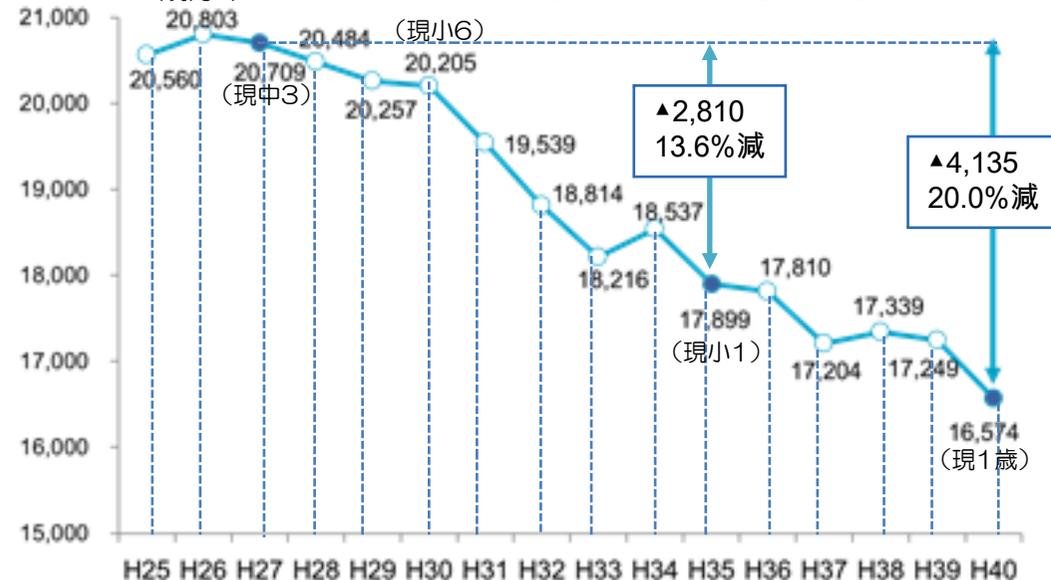
出典:「法務省在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表」

岐阜県の各地域を支える現役世代の減少



出典:「総務省 国勢調査、県人口・少子化問題研究会」

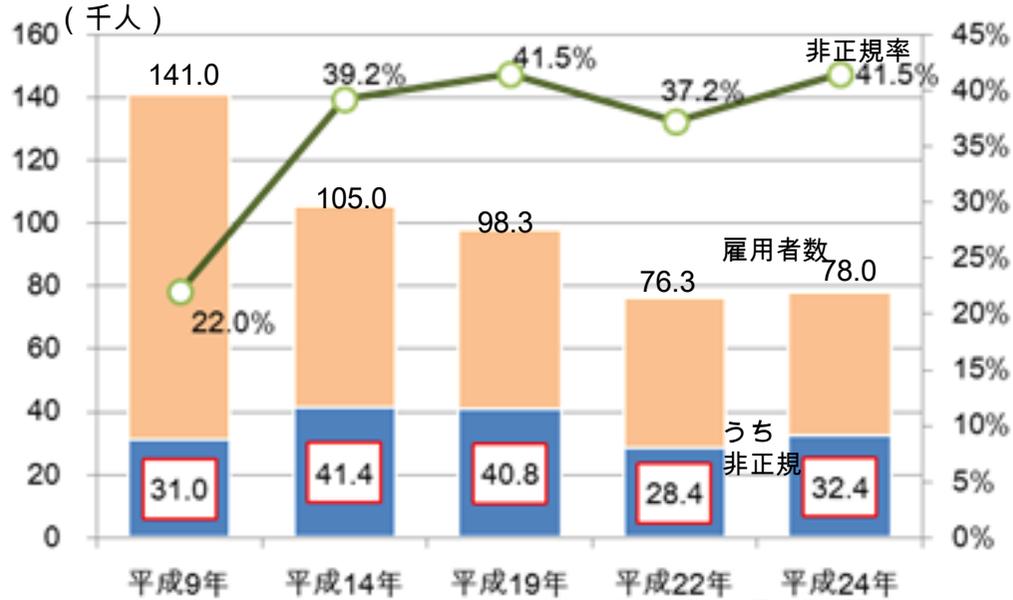
今後の県内の中学卒業(予定)者数の推移



出典:「H25学校基本調査、岐阜県人口動態統計調査四半期報」

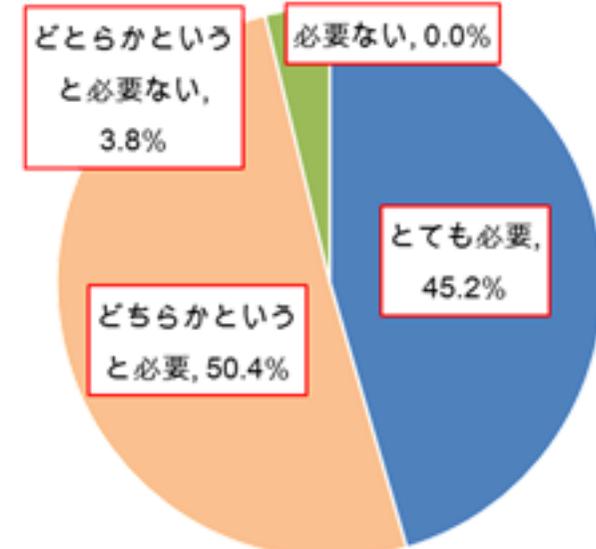
教育を取り巻く状況②

本県の若年雇用者（15歳～24歳）及び非正規率の推移



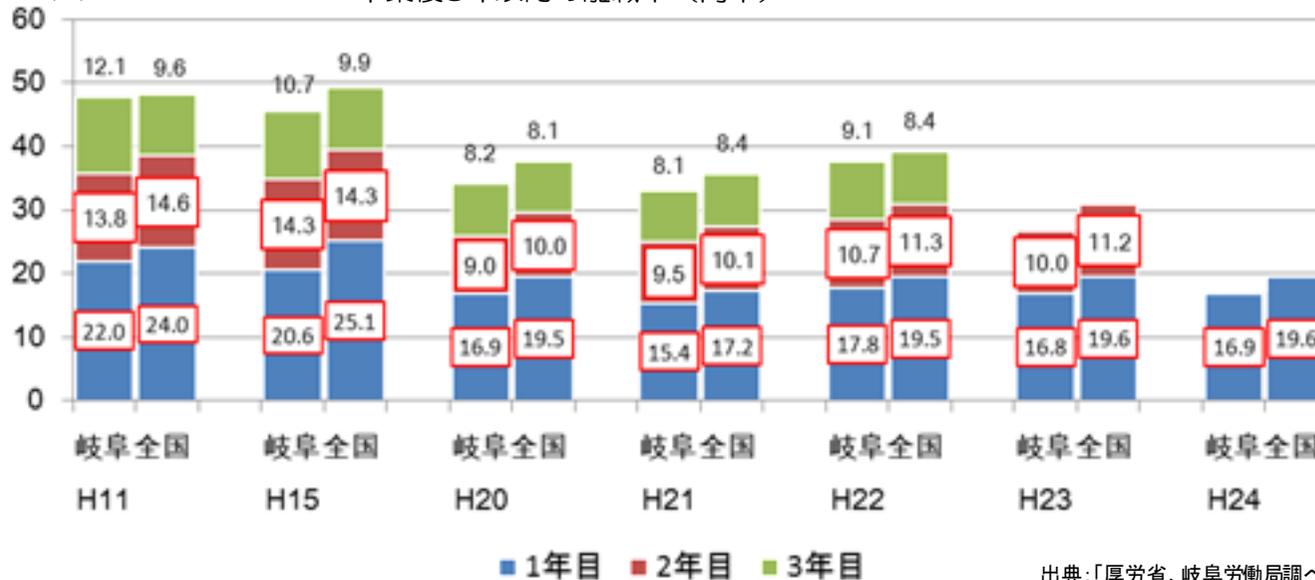
出典:「就業構造基本調査、国勢調査(総務省)」

地域とのつながりの必要性(岐阜県)



出典:「平成23年6月期 県政モニターアンケート調査(岐阜県)」

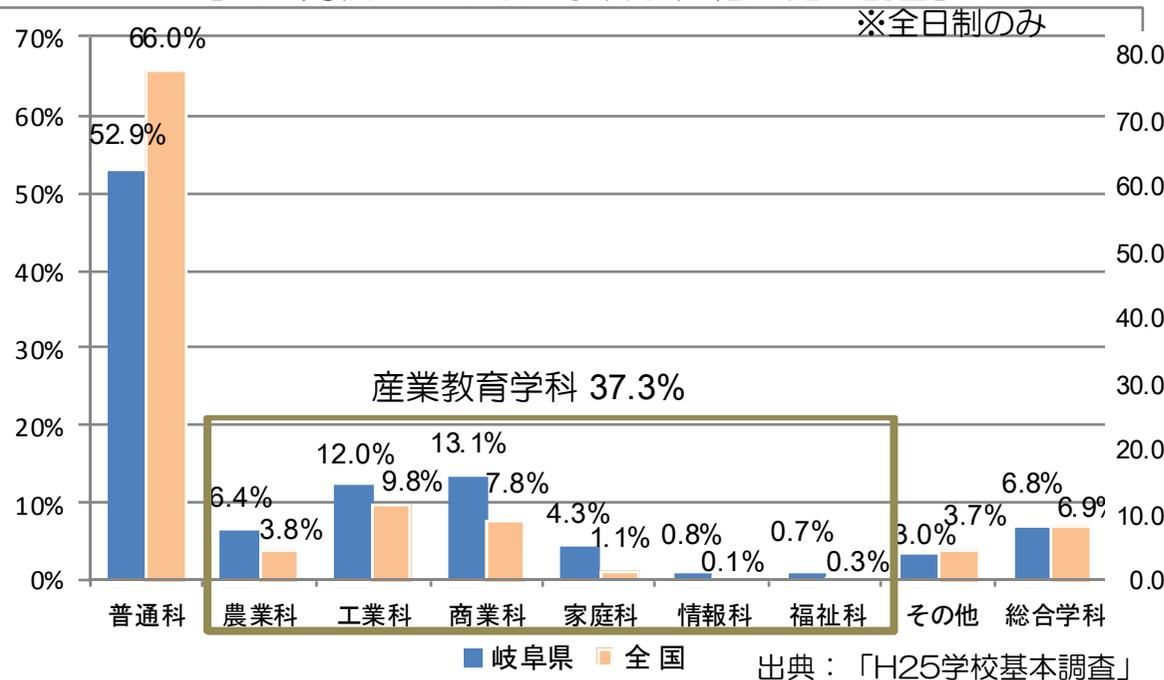
(%) 卒業後3年以内の離職率 (高卒)



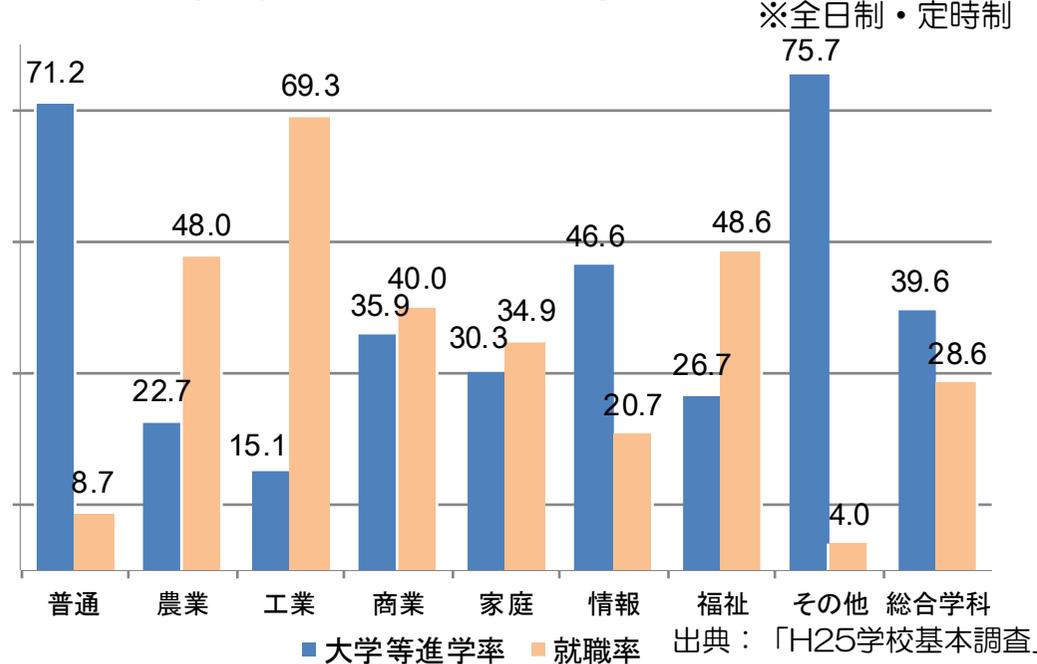
出典:「厚労省、岐阜労働局調べ」

岐阜県を支える産業教育

【公立高校における大学科別在籍生徒の割合】 ※全日制のみ



【県内高校卒業者の学科別大学等進学率・就職率】 ※全日制・定時制



【高校3年間で体験した生徒の割合】

〈インターンシップ実施状況〉

・専門高校4,772人/5,365人 (88.9%)

【参考】

・普通科1,893人/7,755人 (24.4%)

・総合学科838人/1,008人 (83.1%)

出典：「H25.3月末岐阜県高等学校
インターンシップ実施状況調査」

	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	情報科	福祉科	その他	総合学科
大学等	71.2%	22.7%	15.1%	35.9%	30.3%	46.6%	26.7%	75.7%	39.6%
専修学校	16.9%	27.4%	13.8%	20.7%	28.2%	27.6%	24.7%	14.5%	29.2%
就職	8.7%	48.0%	69.3%	40.0%	34.9%	20.7%	48.6%	4.0%	28.6%
その他	3.2%	1.9%	1.8%	3.4%	6.6%	5.1%	0.0%	5.8%	2.6%

【岐阜県公立高校 卒業者の学科別県内外就職者割合】 ※全日制のみ

	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	情報科	福祉科	その他	総合学科
県内	85.1%	86.6%	71.3%	76.9%	85.3%	88.0%	94.1%	89.5%	78.9%
県外	14.9%	13.4%	28.7%	23.1%	14.7%	12.0%	5.9%	10.5%	21.1%

出典：「H25.3末高等学校卒業者の就職状況調査」

公立高校・職業学科の設置状況

県内公立高等学校数：66校

中濃地区 13校

農業科	2校	7科
工業科	2校	7科
商業科	3校	5科
生活産業科	2校	2科

飛騨地区 6校

農業科	1校	3科
工業科	1校	4科
商業科	2校	4科
生活産業科	1校	1科

東濃地区 15校

農業科	1校	4科
工業科	2校	8科
商業科	2校	4科
生活産業科	3校	4科

西濃地区 12校

農業科	1校	3科
工業科	1校	7科
商業科	2校	3科
生活産業科	3校	6科
情報科	1校	1科

岐阜地区 20校

農業科	1校	7科
工業科	2校	14科
商業科	3校	7科
生活産業科	2校	2科
情報科	1校	1科

農業科を設置する高校	6校
工業科を設置する高校	8校
商業科を設置する高校	12校
生活産業科を設置する高校	11校

※全日制のみ

※生活産業科(家庭科、福祉科)

産業教育の充実

[岐阜県産業教育の目標]

本県の地域産業「ものづくり産業」「サービス産業」の維持・発展に貢献する専門的な知識・技術をもった職業人を育成する。

- 産業人の安定供給
- 調和のとれた豊かな人間性や社会性の育成
- 社会の変化に対応した職業人の育成

〈本県産業教育の課題〉

- 地域産業界を牽引し、先見性や創造性に富み、卓越した知識・技術指導力をもった人材の育成
- ソフト・ハード両面での産業・技術の高度化への対応
(教員の知識・技術の向上、老朽化する施設設備の充実)
- 地域経済や産業の国際化に対応できる地域産業人の育成



〈取り組むべき主な施策〉 【第2次教育ビジョン】

- ①産業教育の充実に向けた校種間や地域との連携の推進
- ②スペシャリスト育成に必要な意欲的な学習の推進
- ③産学官との連携の充実
- ④産業教育施設設備の計画的な更新整備
- ⑤グローバル化に対応した産業教育の推進

- 専門高校生国際化推進事業（県単事業）
地域経済や産業の国際化を身近なものとして捉え、グローバル化に対応した産業人を育成する。
- 農業高校生海外実習派遣（県単事業）
ブラジルとオランダに生徒を派遣し、国際感覚を身に付けた将来の地域農業の従事者（農業経営者等）を育成する。



【具体的な施策・事業】

- 専門高校生地域連携推進事業（県単事業）
地域に根ざした産業人を育成するため、地域と連動して「地域問題の解決」「ものづくり」「人づくり」を視点に実践研究するとともに、中学生等に向けて発表会を開催し、専門高校の理解を深める。
- スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業（文部科学省委託事業）
高度な専門的知識・技能を身に付けた地域を支える人材を育成するとともに、日本の専門高校をリードする高いポテンシャルを有す専門高校を目指す。
- 多様な学習成果の評価手法に関する調査研究事業（文部科学省委託事業）
産業界が求める職業人としての資質や能力を身に付けているかを的確に把握し、その到達度を評価する手法を研究する。
- 岐阜県産業教育振興会補助金（県単事業）
産業界との連携により、産業教育の充実と振興を図り、県内産業界の求める人材育成を行う態勢を整える。
- 高校生インターンシップ推進事業（県単事業）
一定期間、企業等で就業体験をすることで、働く意義や将来の生き方、進路について考え、望ましい勤労観・職業観を育成する。
- 岐阜県の産業人育成支援事業費、産業教育振興設備充実費（県単事業）
産業教育にかかる不足備品の購入、老朽備品の更新及び、産業教育振興設備・備品の修繕、装置更新に伴う廃棄等を行う。
- 学校農場基盤整備費（県単事業）
農場基盤を整備し、生産の効率化を図り、生徒の実験実習の安全を確保する。

地域連携推進事業

概要

地域連携が大前提

[活動の3つの視点]

地域

ものづくり

ひとづくり

地域課題解決

[内容の5つの条件]

学習と仕事がリンク

地域に感謝される活動

地域の人と協働実践

伝統文化の継承・地域の特産物の改良など

資格を地域貢献に活用

[期待できる9つの力]

- ☆課題発見能力
- ☆課題解決能力
- ☆職業選択能力
- ☆起業家意欲
- ☆コミュニケーション能力
- ☆勤労観、職業観
- ☆確かな専門性知識
- ☆高度な知識・技術
- ☆産業教育の理解

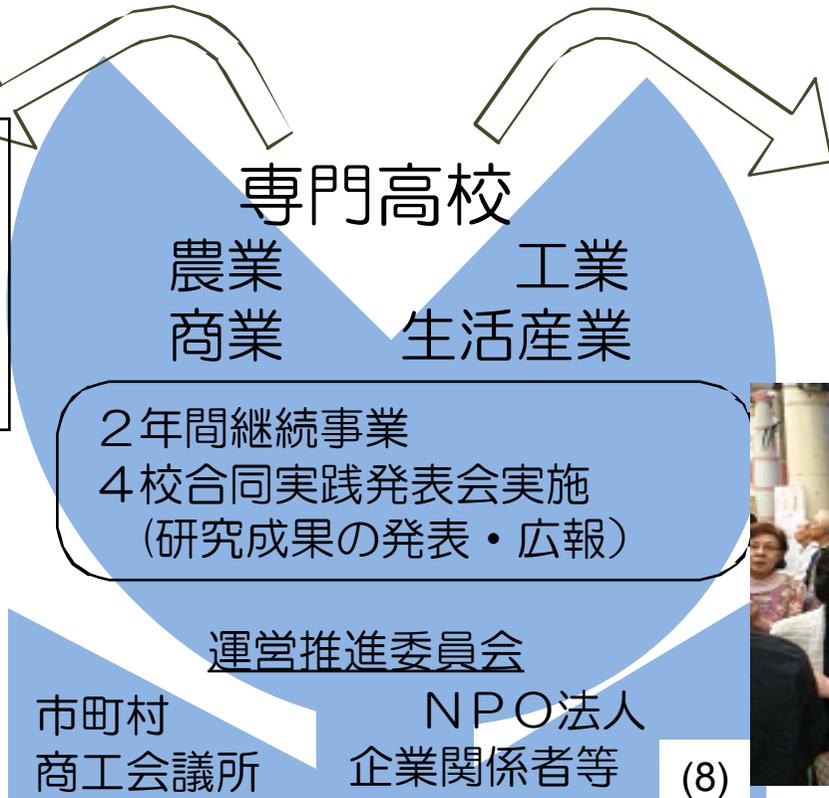


専門高校

イメージ

- 地域の課題を発見
- 専門高校で学習した知識や技術を活用して、地域の方と協働で課題を解決
- 地元の特産物を生かす試み

○専門高校での学習が、地域の生活の中で役に立つことを感じることで、学ぶ喜びを感じ、学習意欲が向上する。
○将来の職業選択に役立つ。



〔目標〕

経済のグローバル化、技革新や情報化の推進等に伴う産業社会の高度化、就業形態の多様化に対応した高度な知識・技術を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成

〈事業のねらい〉

- ・高度な専門的知識・技能を身に付けた地域を支える人材の育成
- ・日本の専門高校をリードする高いポテンシャルを有す専門高校
- ・チャレンジ精神、課題解決能力を養成

〈外部機関〉

- ・企業の高度な専門的知識・技能を教授
- ・海外の先進高校と連携、共同開発
- ・産官学の連携による地域連携
- ・学識経験者、企業等の技能者、関係行政機関の助言

連携

目標を具現化する具体的な取組

○アプリ開発、デザイン工房

- ・情報産業課、企業と連携
- ・企業と協働でアプリ開発
- ・特別支援学校と共同でコンテンツ開発
- ・ビジネス企画力、ソフトウェア開発力の育成

○国内及び海外ネット販売

- ・商工政策課と連携、企業と連携
- ・企業と協働でネット販売の実践
- ・ビジネス企画力、課題発見力を育成
- ・実践的な語学力・コミュニケーション能力の育成

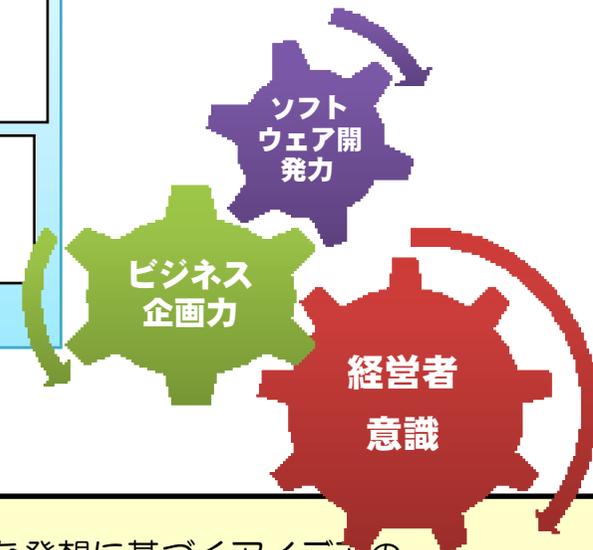
○店舗経営

- ・商業流通課と連携・企業と連携
- ・接客をとおしたコミュニケーション能力育成
- ・実践的な経営管理能力を育成
- ・商品開発による起業家精神の育成

○国際eビジネス

- ・海外先進校と連携、教育課程・指導方法を教授
- ・異文化理解と交流

育成したい能力



期待される事業成果

- ・基礎的・基本的な知識・技術、社会人としての資質を確実に身に付けたうえで、創造性豊かで斬新な発想に基づくアイデアの創出及び、経営管理能力等の将来の地域経済をリードする素養を育成
- ・実践的コミュニケーション能力の向上とITスキルを活用して、将来グローバルな視点でビジネスチャンスを求める人材の育成
- ・自ら学ぶ意欲を醸成し、将来を見つめるキャリアプランニング能力の養成
- ・社会的責任を負う社会人としての規範意識・倫理観の醸成
- ・専門高校の活性化が、将来の地域の産業を支える専門的職業人の育成に資する

多様な学習成果の評価手法に関する調査研究事業

【専門高校の現状と課題】

テーマ：専門的職業人に必要な資質・能力の評価

経済のグローバル化、産業構造の変化等により就業形態は多様化し、職業人として求められる資質・能力が変化している。その中で専門高校は、地域産業を支え、社会のニーズに応じた人材を育成することが求められる。そうした資質・能力のうち、コミュニケーション能力、チャレンジ精神、行動力、熱意、協調性等の幅広い能力が求められており、こうした資質・能力を明確な規準等をもって評価し、育成することが求められている。

【研究事業（概要）】

産業界が求める職業人としての資質や能力を身に付けているかを的確に把握し、その到達度を評価するための客観的な規準と評価方法の開発（コミュニケーション能力や主体的な行動力、熱意や協調性等の評価手法を研究）

《可児工業高等学校》

《加茂農林高等学校》

【研究テーマ】
「工業高校に求められる幅広い学力の育成と学力の質の保証」

【研究内容】

- ・工業高校生が身に付けるべき幅広い学力と達成度を明確にし、達成度を確認する仕組みの確立
- ・知識・技術の定着に加え、その他の幅広い学力の育成に結び付くような観点別評価
- ・幅広い様々な能力を高める実践と評価手法の開発

【具体的な取組】

- ・コミュニケーションやプレゼンテーションを高める実践
- ・英語交流授業
- ・ビジネス手帳の活用
- ・コーチング向上研修
- ・高度熟練技能者から直接指導
- ・外部人材の活用によるキャリア教育の充実

評価手法推進委員会

【研究テーマ】
「農業高校における基礎的科目の評価の確立と、コミュニケーション能力と主体的行動力の評価の在り方」

【研究内容】

- ・基礎科目「農業と環境」に関して、学科目標に照らし合わせた評価規準の作成及び、指導と評価の一体化を目的とした学習指導
- ・地域連携を活かした学習活動をとおして、コミュニケーション能力と主体的行動力の評価の在り方を研究

【具体的な取組】

- ・異世代の専門的知識・技術を有した社会人講師、有識者を招聘
- ・既習の知識・技術を活用する場面設定
- ・指導と評価の年間計画立案
- ・先進校の視察

評価手法推進委員会

相互連携

指導・助言

京都大学大学院 岐阜大学大学院 岐阜女子大学
・研究推進について指導・助言

指導・助言

岐阜県教育委員会 ・研究推進についての指導・助言 ・評価手法検討会議の開催
・各種研修会での実践紹介（実践事例としての活用） ・文部科学省との連絡調整

【研究成果のイメージ】

- ・産業界が求める専門的職業人として必要な資質・能力を把握し、評価規準をもって実践的に養成することができる。
- ・生徒一人一人の学習状況を分析的に把握し、きめ細かい学習指導を実践することができる。

グローバル化に対応した産業教育推進

地域産業のグローバル化の現状

- 県内企業の海外進出の増加
- 様々な業種が海外進出している現状
- 外国人労働者の就労の増加
(外国人が長い将来にわたって日本に生活し続ける現状)

地域産業界からのニーズ

- 少子化、高齢化による労働人口の減少にともない、安定した労働力の供給
- さらに、高度な専門的な知識と技術をもった次代を担う優れた産業人の育成



育てたい生徒像

「地域経済や産業の国際化に対応できる地域産業人の育成」

グローバル化が進展する社会において、地域経済や産業の国際化を身近なものとして捉えるために、海外インターンシップや留学生との交流等を実施するとともに、実践的な英語の授業などを通して、外国語によるコミュニケーション能力を高め、国際的な視点を有した地域産業人を育成

- 外国人労働者の文化・生活スタイルを理解するとともに、積極的に関わりあうことができるコミュニケーション能力の育成
- 将来、海外の現地法人に赴任し、技術指導、経営活動を行うことができる素養を涵養
- 国際経済の動向を具体的に把握し、産業経済の実情と変化等を理解
- 専門高校における英語の授業の工夫（大学受験に偏らない、社会人として使える英語、その他の語学力の習得）

◆専門高校生国際化推進事業

○県内の専門高校において、地域経済や産業の国際化を身近なものとして捉え、さらに、地域や生徒の実態、学科の特性を踏まえ、グローバル化に対応した職業人を育成するための基盤を形成する取組を推進する。

【事業の妥当性】

- ・専門高校生が海外を身近に感じ、世界とのつながりを実感する環境を整える。
- ・グローバル化に対する学校ごとの取組の温度差をなくし、各学校の地域における状況や、生徒の実態に応じ、独自の取組を支援する。



◆農業高校生海外実習派遣

○ブラジル・オランダに生徒を派遣し、海外農業の実態や日系移住者の優れた実践的経営や開拓精神に触れ、将来の農業経営者を育成

平成26年度～（5年間を見通したグローバルに対応した取組）



【工業高校】

○岐阜工業高校：タイに現地法人を有す地元企業を調査研究するとともに、現地にて就労体験し、国際感覚を有したエンジニアの育成を図る。



【生活産業高校】

○大垣桜高校：フランスのエスモード・パリ校にて最先端のモードや芸術に触れることでグローバルな視野をもち、豊かな感性と柔軟な発想力を養う。



【農業高校】

○飛騨高山高校：フィリピンで植樹を中心とした就労体験や現地の住民や高校生と交流するとともに飛騨高山の伝統文化を英語を使って発信する。



【商業高校】

○大垣商業高校：英語ネイティブ講師を計画的に招聘し、ビジネス英会話能力を養成するとともに、留学生徒の交流を通してビジネス英語によるコミュニケーション能力を養成する。

※毎年、専門高校4校を指定

【成果】

○大規模、大量生産の農業でありながら、食の安全、環境に配慮した農業、資源循環型農業の理解を深める。

○海外の食文化、風習、生活習慣を理解するとともに、日系人との交流を通して、国際感覚を養う。

○海外農業の実態や優れた実践的経営、開拓者精神等を学び、自ら農業をプログラムできる素養を涵養する。

○海外での実際の農業実習体験を生かし、将来、本県における農業経営者、農業産業従事者としてリードする素養を身に付ける。

グローバル化に対応した産業教育の施策に対し、予想される成果

産業教育は、社会や経済の仕組みを正しく理解し、産業と社会の発展に積極的に寄与する人材の育成が求められている。本県の産業を取り巻く現状が、外国人労働者の増加や、海外進出の増加していること等を確実に理解するとともに、本県産業の将来像を的確に見据えた先見性や創造性に富み、確かな知識・技術・指導力を身に付けた人材の育成を、県下の専門高校全体で図る。

岐阜県産業教育の実績

本県は産業教育に大変力を入れているとともに、資格取得や
該当教科の各種コンクール等で、高い成果をあげている。



【商業】 高度資格取得

試験名と科目		平成25 年度合格 者	全国 順位
経済産業省	応用情報技術者	15人	1位
	基本情報技術者	50人	1位
	ITパスポート	57人	7位
日商簿記検定	1級	29人	1位
	2級	655人	2位
日商販売士検定	2級	32人	2位
	3級	161人	2位
国 税 庁	税理士科目	25人	1位
実用英語検定	2級	48人	3位
	準2級	235人	1位

【農業】

恵那農業高等学校

- ・世界らん展日本大賞2014
ディスプレイ審査部門 最優秀賞

世界らん展は、毎年約20カ国・
地域から3000種10万株の蘭が出
展される世界規模のイベント



【工業】

大垣工業高等学校

- ・第7回若年者ものづくりコンテ
スト
全国大会優勝

企業等に就業していない20歳以
下の若年者を対象に、「若年者も
のづくり競技大会」を開催し、若
年者に目標を付与し、技能を向上
させることにより若年者の就業促
進を図り、併せて若年技能者の裾
野の拡大を図る大会



【生活産業】

・大垣桜高等学校

- ・全国高校生ファッションデザイン
選手権大会（ファッション甲子園
）優勝

3118点の応募の中から優勝(1
校)に選出。作品は、高校生らしい
発想で白と黒の電気コードを編み
込みQRコードやバーコードを立
体的に表現し、
スカート部分
は布地を使っ
て動きを出し、
イン画に忠実
に再現できた
ことも高く評
価



【情報科】

・岐阜各務野高等学校

- ・県の知事部局より「ミナモデザ
イン制作所」として認定

県では、「清流の国ぎふ」マス
コットキャラクター・ミナモを活用
して、「清流の国ぎふ」を推進
しており、同校は「ミナモデザ
イン制作所」として正式に認定され
た。今後は、情報デザインや3次
元CGで本格的なデザインや、ア
プリ開発を実施



実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関に対する期待

○高等教育機関に進学する生徒像

- ・専門高校で、基礎・基本的な知識・技術を習得したうえで、さらに専門的かつ高度な知識を身に付けようと目的意識が明確であり、向上心を有す。
- ・近年、高等教育機関への進学率は高くなる傾向。

(再掲)

	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	情報科	福祉科	その他	総合学科
大学等	71.2%	22.7%	15.1%	35.9%	30.3%	46.6%	26.7%	75.7%	39.6%
専修学校	16.9%	27.4%	13.8%	20.7%	28.2%	27.6%	24.7%	14.5%	29.2%
就職	8.7%	48.0%	69.3%	40.0%	34.9%	20.7%	48.6%	4.0%	28.6%
その他	3.2%	1.9%	1.8%	3.4%	6.6%	5.1%	0.0%	5.8%	2.6%

○高等教育機関への期待

- ・地域産業の担い手を育成するための職業教育の充実、具体的には、長期のインターンシップや応募前職場見学の充実に加え、日本版デュアルシステム等の積極的な職業体験の充実（ただし、大学の空洞化は課題）。また、高等教育機関の専任教員を長期間、企業に派遣し、時代の変化に即応した先端的な知識・技能等を習得するとともに、職業教育指導者としての資質を養成。
- ・各産業分野の垣根は低くなり、互いの関連性を深めている。今後は一層、各産業の結合・融合することにより、新しい産業を形成することが必要。

農業分野では、工業技術の活用で生産力を高め、収穫した生産物に付加価値を加え、販売力を上げる。いわゆる6次産業化に向けた教育カリキュラムの整備

- ・専門高校在学中に専門的な知識・技術を習得したり、高度資格を取得したりしている生徒が、その専門性を生かすとともに、培った能力を一層、高められるような専門的かつ優先的な教育カリキュラムの整備と拡大。

(参考) 朝日大学 経営学部経営学科 会計コース
高校在学中に高度資格を取得し、将来、公認会計士、税理士を目指す特別なコースと教育課程を整備し、会計を通して社会貢献するための必要な能力を身に付けるコース

- ・企業内研修、社会人が受ける研修内容を学生が受けたり、社会で必要となる思考力、行動力、コミュニケーションスキルを育むゼミナール活動を、企業人が評価することで、学びと社会との接続を意識。
- ・低学年における専門知識・技術の好奇心、探究心を身に付けるための基礎実験・基礎研究(プロジェクト活動)の実施。